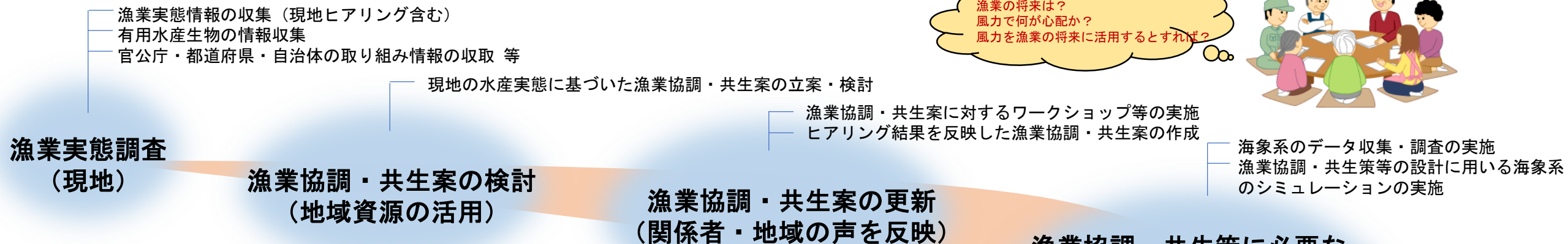
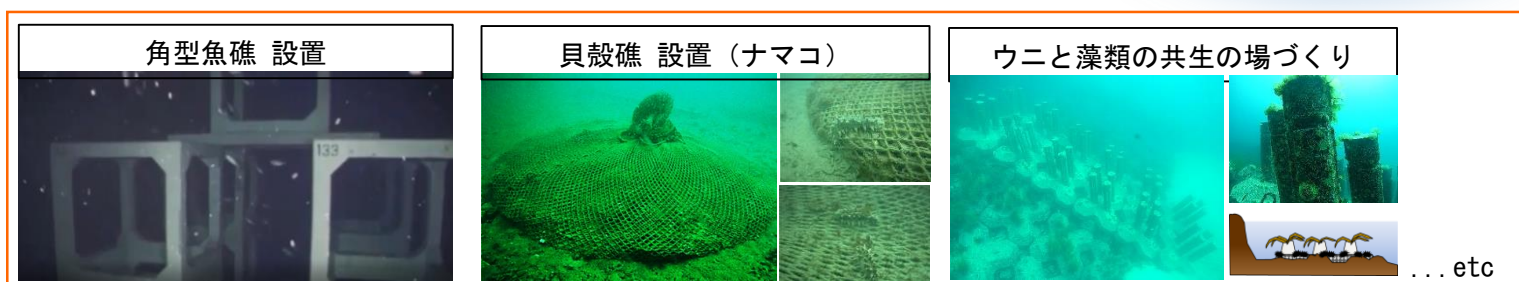


# 漁業協調・共生の取組について

○国内で多くの事業計画が進められている着床式洋上風力発電では、施設が整備されると、基盤（支持構造物）に付着生物が出現し、新しい生態系が構築され、魚礁効果をもたらすと言われている。今般、洋上風力発電の事業化に向けた環境が整いつつあるが、一方で発電施設周辺の波浪・流況や地形変化、漁業利用への影響等に配慮しなければならないほか、海面の利用調整、漁業者との合意形成は、重要。  
○このため、事業予定海域における漁業の実情や将来像を踏まえ、漁業協調・共生のあり方について、漁業関係者と協議を進めるとともに、信頼関係を構築しながら漁業協調・共生型の洋上風力発電事業を進めていくことが求められる。



漁業の将来は？  
 風力で何が心配か？  
 風力を漁業の将来に活用するとすれば？



対象海域

風車

漁業、漁港、地域

多様な漁業協調・共生策を提案

## 漁業協調・共生のマスタープラン、ロードマップの作成（地域とつくる）

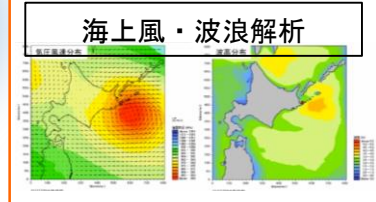
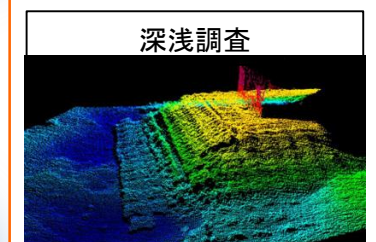


みんなの思いを具体化した絵を描くと？  
 風力も地域の資源！活用しよう！  
 技術的に可能な裏付けがないと・・・

現地に適した漁業協調・共生策のマスタープランの作成  
 ロードマップの作成

## 漁業協調・共生策の設計等

対象事業に適した漁業協調・共生策の作図  
 漁業協調・共生策の設計の実施



... etc